

## みんなでつくる、男女共同参画社会

# 地域で輝く女性力



北陸農政局「消費者の部屋」

展示期間：令和6年6月3日（月）～6月28日（金）





# 【みんなでつくる、男女共同参画社会】①

## 北陸農政局 農山漁村 男女共同参画優良事例表彰

北陸農政局の管内において、農林水産業、農山漁村における男女共同参画の実現を目指して、経営参画や社会参画等の優良な取組を行っている方を表彰し、その活動事例を広く紹介しています。

### 令和5年度の受賞者

|         |              |
|---------|--------------|
| 新潟県阿賀野市 | 脇坂 裕一・よしみ 夫妻 |
| 富山県氷見市  | 上野 達也・和枝 夫妻  |
| 石川県金沢市  | 小林 二伊奈 氏     |
| 福井県あわら市 | 長田 奈津子 氏     |

### 関連コンテンツ



北陸農政局農山漁村  
男女共同参画優良事例表彰



女性の活躍を応援します  
(北陸管内の取組等)

令和5年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 受賞者

## 脇坂 裕一・よしみ 夫妻 (新潟県阿賀野市)



脇坂夫妻

・昭和58年、裕一氏は、水稻兼業の自家に就農し、農業研修先で学んだ鑑賞用花の栽培を始める。よしみ氏は、結婚を機に就農し、農業に従事しながら地域活動や農産物加工技術の習得を始める。

・平成23年、東日本大震災が起こり、復興支援隊に参加したところ、農家であるのに生きるために必要な生活物資を提供できず、見るだけではなく食べることができると考え、新潟県で初めてのエディブルフラワー（食用花）の生産を始める。

・平成16年に家族経営協定を締結、平成25年に法人化し「株式会社 脇坂園芸」を設立、認定農業者となる。

・平成27年、加工直売施設「Soel」を開店。生だけではなくドライのエディブルフラワー製造や加工品（紅茶、塩、米粉スイーツ等）を商品化し、事業を拡大。

・全国の商談会によしみ氏の花ソムリエ、エディブルフラワーコーディネーターの資格を活かして出展し、レストランや飲食店等の販路を開拓。フードメッセinにいがた2018にて6次産業化大賞の日本食料新聞社賞を受賞したことをきっかけに、ドライエディブルフラワーの海外輸出を開始し、さらなる経営発展に取り組む。

・阿賀野市内の福祉事業所に輸出用ドライエディブルフラワー製造を委託。多様な人材が活躍できる環境を整備し、障がい者の期間雇用につなげる地域に先駆けた農福連携に取り組む。

・女性従業員の意見を取り入れてメインターゲットの女性消費者を意識した商品づくりを心掛けている。多数の女性従業員を雇用し、農業大学校生には農業指導、子育て世代には柔軟な就業時間を認める等、従業員が働きやすい環境づくりを行っている。



ハウスで栽培しているエディブルフラワー



サラダにエディブルフラワーを添えて



加工直売施設「Soel」

・女性の新規就農にむけた相談者も多く、インターンシップの受入や地域の農業者とのつながりの場を創出するなど、農業後継者の育成に貢献。

・令和5年、裕一氏は「日本エディブルフラワー協会」の理事に就任。よしみ氏は、農村地域生活アドバイザーで役職を兼任し、県全体の農福連携の推進や地域振興活動に尽力。



# 【みんなでつくる、男女共同参画社会】②

令和5年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 受賞者

## 上野 達也・和枝 夫妻（富山県氷見市）



上野夫妻

・平成16年、「**ふなり**」を開設し、ブルーベリーを中心とした飲み物やスイーツの提供、生果実や加工品の製造販売に取り組む。消費者と生産者との交流促進の取組実績が評価され、平成24年に富山県農業振興賞を、平成28年から5年連続で氷見市チャンピオンシップコンテストを受賞し殿堂入りを果たす等、地域農業の発展に貢献。

・平成20年、家族経営協定を締結し、氷見市第1号の夫婦共同申請による認定農業者となった。達也氏は農園全般と経理、和枝氏はカフェ経営と加工事業と役割分担を明確にする。夫妻は、前職の旅行会社勤務経験を活かして事業を展開し、経営発展している。



・平成10年、観光的な農業をやりたい思いから、自営農業するため、達也氏は生まれ故郷の氷見市触坂へUターン、和枝氏は福島県郡山市出身からのUターンで新規就農。摘み取り園として展開できるブルーベリーに着目し、富山県で初めて本格的な生産に取り組む。

・石川県能登町で研修を受け、平成13年4月に氷見市触坂の休耕田を活用した農園「いなかふれざか」を設立。現在は面積90a、約1,000本、37品種を栽培。



ブルーベリー

・ブルーベリーの生産、観光農園、加工、カフェと経営が発展したUターン農業の模範となり、多くの新規就農者や女性起業家が視察や相談に訪れる。カフェを起点とした移住希望者と地元の人との集いの場を提供し地域活性化に貢献。

・令和4年に休耕田でカボチャを作る「触坂パンプキン愛」を結成し、触坂地区の耕作放棄地対策を実施。

・「れんげの会」（高岡広域の若い女性農業者で構成する組織）の会長を務める他、令和5年4月設立した氷見市農業みらい塾（市内認定農業者等で構成される団体）の副塾長に就任、同年7月からは氷見市の女性農業委員に就任。

「Café Fūnari」の外観（上）  
カフェで提供しているブルーベリーメニュー（左）  
ブルーベリー加工品（右）

令和5年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 受賞者

## 小林 二伊奈 氏（石川県金沢市）



小林氏とブロッコリー

・農業高校、農業短期大学を卒業し、官公庁の農業研究機関に就職。専業農家に嫁いだことをきっかけに就農。平成16年、子供が保育所に通い始め、農業に本格的に従事するタイミングで、家族経営協定を締結し、育児と農業が両立できるよう役割分担する。

・地域では、男性の補助作業が女性の役割という慣習があり、機械に頼らない補助作業をするため、身体を痛める先輩女性農業者が多くいた。地域から請け負う圃場面積が年々増加したことから、作業の中、効率化を図るため、乗用機械オペレーターの練習を始める。現場作業を家族内でローテーションできるようにし、同じ作業を繰り返すことが起因となる身体的な負担が軽減できた。専業農家の一員として、役割分担を見直し、家族全員が健康に働くことができる作業体系へと環境改善に取り組む。



フリージア（エアリーフローラ）の花（左）と栽培の様子（右）



かきもち

・金沢市内の女性農業者グループ「金沢農女（ノマジヨ・カナザワ）」の設立に発起人として尽力し、初代会長（平成31～令和5年）を務める。隣県の農業女子との交流や勉強会、地域ごとの取組等、女性農業者が活躍できる農業の実現に向けて活動。

・近年は、石川県及び金沢市の農業に関する重要な役職に複数就いており、女性農業者の立場に加えて農業の担い手の立場から、地域の農業振興の方針や農村女性の社会参画に携わっている。また、石川県仕事探しシェルパとして中・高校生に対して職業講話を行い、仕事としての大変さも含めた農家の思いを伝えている。



# 【みんなでつくる、男女共同参画社会】③

令和5年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 受賞者

## 長田 奈津子 氏（福井県あわら市）



長田氏

・農業を志し福井県に移住。平成19年に農家に嫁ぎ、100年以上前から続く農家の一員となる。家族経営協定を締結し、就業条件や役割、収益配分を見直したことをきっかけに、家族で農業経営改善計画の共同申請を行う。

・共同経営者として、農作業全般、経営管理、情報発信を担当し、農業経営の発展に貢献。より品質の高い、おいしい野菜や米づくりを目指し、水稲、メロン、スイカ、トマト、大根、人参を生産。

・農業を始めようとインターネットで情報収集して研修先を見つけた経験から、新規就農者に向けて福井県でリアルに起きている農作業を伝えたいと思い、平成28年からfacebook、令和3年からインスタグラムを活用した農作業の日記をつけ、農作業の取組状況を情報発信する。

・平成29年から長田農園ブランドづくりを意識し、オリジナルロゴや生産品目を印刷した直販パッケージを作成。農園紹介のリーフレットや農作業の近況をまとめた定期通信が消費者とつながるきっかけとなり、主な販売先は固定客となっている。



マルセイユメロン（上）  
大玉すいか（下）



オリジナル直販パッケージ（上）  
と出荷の様子（下）

・令和元年から3年間、あわら市の農業委員を務め、農業後継者の育成と遊休農地の利用促進が重要であることを実感。県内で最初に里親農家の活動を始めた農家の後継者として役割を引き継ぎ、ふくい園芸カレッジ研修生や就農希望者の受け入れ等、農業後継者の育成に積極的に取り組む。



里親農家の活動の様子

・女性新規就農者や子育て世代の新規就農者のアドバイザーを務める。中学校の社会科授業や職場体験等の受け入れ、福井県立大学の特任講師として活動し、次世代の農業者育成に広く貢献。また、地元の若手女性農業者グループの代表を務めた他、県域の女性農業者グループ活動に参加し、地域を代表する女性農業者として活躍し、地域の農業振興に係る活動に参画。





# 【みんなでつくる、男女共同参画社会】④

毎年6月23日から29日までの1週間は

## 男女共同参画週間

男性と女性が、  
職場で、学校で、地域で、家庭でそれぞれの個性と能力を発揮できる  
「男女共同参画社会」

その実現のためには、政府や地方公共団体だけではなく、  
国民のみなさん一人ひとりの取組が必要です。

この機会に、男女のパートナーシップについて考えてみませんか。

### 一 第5次男女共同参画基本計画 一

男女共同参画社会基本法に基づき、政府が策定する基本計画です。  
令和2年12月25日に閣議決定しました。

#### 目指すべき社会

- ① 男女が自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる、公正で多様性に富んだ、活力ある持続可能な社会
- ② 男女の人権が尊重され、尊厳を持って個人が生きることのできる社会
- ③ 仕事と生活の調和が図られ、男女が共に充実した職業生活、その他の社会生活、家庭生活を送ることができる社会
- ④ あらゆる分野に男女共同参画・女性活躍の視点を取り込み、SDGsで掲げられている包摂的かつ持続可能な世界の実現と軌を一にした取組を行い、国際社会と協調する社会

農林水産業の発展、農山漁村への人材の呼び込みのためには...



女性が働きやすく暮らしやすい農山漁村にすることが重要であり、女性が地域の方針策定に参画し、女性の声を反映させていくことが必要です。

北陸4県の現状はどうか？



#### ◇農業委員に占める女性の割合

|      | 現状（令和4年） |             |       | 第5次男女共同参画基本計画の<br>成果目標（全国）      |
|------|----------|-------------|-------|---------------------------------|
|      | 委員数      | 女性農業<br>委員数 | 割合（%） |                                 |
| 全国   | 22,995   | 2,905       | 12.6  | 女性の割合：<br>20%（早期）<br>30%（令和7年度） |
| 新潟   | 485      | 53          | 10.9  |                                 |
| 富山   | 256      | 26          | 10.2  |                                 |
| 石川   | 257      | 27          | 10.5  |                                 |
| 福井   | 222      | 29          | 13.1  |                                 |
| 北陸合計 | 1,220    | 135         | 11.1  |                                 |

農林水産省「農業委員への女性の参画状況」（令和4年10月1日現在）

#### ◇農業協同組合の役員に占める女性の割合

|      | 現状（令和5年） |       |       | 第5次男女共同参画基本計画の<br>成果目標（全国）      |
|------|----------|-------|-------|---------------------------------|
|      | 役員数      | 女性役員数 | 割合（%） |                                 |
| 全国   | 14,025   | 1,490 | 10.6  | 女性の割合：<br>10%（早期）<br>15%（令和7年度） |
| 新潟   | 402      | 50    | 12.4  |                                 |
| 富山   | 325      | 35    | 10.7  |                                 |
| 石川   | 363      | 40    | 11.0  |                                 |
| 福井   | 66       | 2     | 3.0   |                                 |
| 北陸合計 | 1,156    | 127   | 10.9  |                                 |

JA全中「JA女性役員等調査」（令和5年7月末現在）

# 【みんなでつくる、男女共同参画社会】⑤

## ◇土地改良区（土地改良区連合を含む。）の理事に占める女性の割合

| 現状（令和5年） |        |       |       | 第5次男女共同参画基本計画の<br>成果目標（全国） |
|----------|--------|-------|-------|----------------------------|
|          | 理事数    | 女性理事数 | 割合（％） |                            |
| 全国       | 45,196 | 369   | 0.8   | 女性の割合：<br>10%（令和7年度）       |
| 新潟       | 825    | 1     | 0.1   |                            |
| 富山       | 895    | 2     | 0.2   |                            |
| 石川       | 685    | 4     | 0.6   |                            |
| 福井       | 1,473  | 3     | 0.2   |                            |
| 北陸合計     | 3,878  | 10    | 0.3   |                            |

農林水産省「土地改良区設立状況等調査」（令和5年3月31日現在）

## ◇認定農業者数に占める女性の割合

| 現状（令和5年） |       | 第5次男女共同参画基本計画の<br>成果目標（全国） |
|----------|-------|----------------------------|
|          | 割合（％） |                            |
| 全国       | 5.3   | 女性の割合：<br>5.5%（令和7年度）      |
| 新潟       | 2.9   |                            |
| 富山       | 4.3   |                            |
| 石川       | 3.7   |                            |
| 福井       | 13.8  |                            |
| 北陸合計     | 3.9   |                            |

農林水産省「農業経営改善計画の営農類型別等認定状況」（令和5年3月末現在）



「家族経営協定」とは、家族農業経営にたずさわる各世帯員が、意欲とやりがいを持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるものです。

## ◇家族経営協定の締結状況

| 現状（令和5年） |        | 第5次男女共同参画基本計画の<br>成果目標（全国） |
|----------|--------|----------------------------|
|          | 締結数    |                            |
| 全国       | 60,020 | 70,000件（令和7年度）             |
| 新潟       | 1,309  |                            |
| 富山       | 289    |                            |
| 石川       | 298    |                            |
| 福井       | 330    |                            |
| 北陸合計     | 2,226  |                            |

農林水産省「家族経営協定に関する実態調査」（令和5年3月末現在）

## 北陸農政局管内の農業協同組合における男女共同参画事例

### なのはな農業協同組合 JAなのはな

所在地：富山県富山市  
組合員数：10,496人  
理事数：11人（うち女性2人）  
監事数：3人（うち女性0人）  
職員数：211人（うち女性85人）



#### ○組合長になって感じたこと

- ・理事として質問する側から組合長として答える側になり、その立場にならなければわからないことがある、と実感した。
- ・理事会の雰囲気も変わり新しい意見が出たりするが、女性の数が少なく意見が届かないこともある。まずは、女性部の活動からJA組織を知ってもらい、女性理事を増やしていきたい。
- ・就任直後は女性組合長であることをアピールするような目立つ服装をしていたが、周囲も女性組合長に慣れてきて、だんだんと肩の力がぬけて、落ち着いてきた。
- ・管内の地域農業を支えている家族経営農家に目を向けた支援をしていきたい。例えば、水稲だけに頼りすぎず、副業的に収入が得られたら、耕作放棄地も減るかもしれない。

### 代表理事組合長 谷井悦子さん

たにい えつこ



前身農協に入組以来、長く地域農業に尽力し、JAなのはなを退職。  
JAなのはな理事会及び女性部、JA富山県女性組織協議会の役員を歴任。  
令和4年2月に臨時理事会で組合長に就任の後、同年5月通常総代会で再任。

#### ○組合長就任の経緯

- ・JA職員時代の仕事に対する姿勢や女性部の活動を通してJAに対し意見や提案していたことが評価されたと思う。
- ・職員時代から頼まれたら断らないスタンスで、理事会から組合長の打診があり引き受けた。慣れないことも多いが、応援してくれる仲間がいるから大丈夫と、前向きに取り組んでいる。

#### ○女性の社会参画について

- ・社会参画に男女の性別は関係ない。一人一人の長所を見つけ伸ばすための経験を積み、適材適所で働くことが大事。
- ・当時の上司から「仕事は段取り八分」と言われ、時間の使い方を工夫し、苦労したが仕事と家庭を両立させてきた。
- ・JAなのはなは、採用職員の半数が女性の傾向。今は女性管理職は3名しかいないが、管理職のうち1割を女性から登用したいと考えている。

女性が中心となって農業を引っ張る時代が来る。  
地域の食、農業を守っていくために、一歩踏み出す勇気をもってほしい。



（中央）谷井組合長



# 【みんなでつくる、男女共同参画社会】⑥

農業委員ってどんなお仕事？ 農業と委員の仕事とどのように関連しているの？

## 女性農業委員の1日に密着しました！



稲苗 史絵さん [富山県魚津市農業委員会]

**プロフィール**

- ・富山県魚津市生まれ
- ・農業委員2期目(4年目)
- ・(株)NORDSHI FARM 取締役
- ・30ha規模で米を生産。おやき、おにぎりなどの加工販売も行う。

### 稲苗さんのある1日のスケジュール

#### ① 06:00 朝礼/会社の事務作業

毎朝スタッフ全員で朝礼をして、各員のやることを共有！稲苗さんを中心にメール対応など事務作業と加工業務をするチームと、生産管理をするチームに分かれて作業をスタート。

8月にオープンを迎えるおにぎり農家のために、スタッフみんなで盛り合わせや漬物の製作。お米を買ってくださる常連さんが来てくれて、うれしいフィードバックも。



#### ② 10:00 担当地区の見回り

松島地区の委員と一緒に、農地の見回り。先輩委員に土地の由緒も教わる。



#### ③ 14:00 農業委員会への出席

農業委員2期目のはじめ。新たな気持ちで、地区のことを学びながら進んでいく。



全国の女性委員のネットワークがあり、様方になってくれる方たちがいます。地域でも熱い思いを伝えれば、必ず助けがてくれる方がいます。地域での活動や人脈の幅も広がりますので、ぜひみなさんに農業委員になってもらいたいです！(稲苗さん)



農家さんの話をよく聴いて、その話のなかから何をすべきなのかを見つけていくようにしています。農地のあせん業務も、地域計画も、その先の地域農業をつかっていくところでも、「人の思いを聴く」ということは同じだと思っています。(笠原さん)



笠原 尚美さん [新潟県阿賀野市農業委員会]

**プロフィール**

- ・新潟県阿賀野市生まれ
- ・農業委員3期目(24年目)
- ・「にいがた女性農業委員の会」会長
- ・笠原農場として、米、枝豆、切り花を生産。
- ・全国農業委員会女性協議会会長

### 笠原さんのある1日のスケジュール

#### ① 06:00 田んぼの草取り

機械では取れない草を手で刈っていく。暑いので朝作業！



#### ② 10:00 担当地区の見回り

旧市ヶ澤村全域の地区総会として、富農の豊れ農地を見守る。



#### ③ 13:00 農業委員会4役との打ち合わせ

2023年度の大きな動きは「地域計画の策定」。地区ごとに情報共有をして、阿賀野市全体の連携などを確認する。



#### ④ 14:00 地域計画説明会対応

市ヶ澤地区の各農家代表が集まり、今後の流れや方針の共有。様々な意見が飛び交った、ひとつ前進。

※撮影は2023年7月1日の撮影による。

## 「農地法」はどうやって勉強する？

農業委員になった、新しい「農地法」を勉強しないといけないのではと心配される方もいらっしゃるかと思います。もちろん個人の勉強が必要ですが、委員になった方には、農地法のテキストブックの配布や、市町村によ



## 農業委員が関わる「地域計画の策定」とは？

地域計画とは、おおむね10年後の地域の農地利用の姿を具体化するもので、農地一帯ごとに製作を特定していきます。計画の策定にあたっては農業委員は、農業を営む者ごと利用する農地を示した地図(目標地)の策定や、目標地を策定するための意向把握(戸別訪問やアンケートによる)、地域の話し合いへの参加などの役割を担います。10年後にも同じ

姿で地域の農業を続けていくためには、地域が一体となって、この計画作りに取り組むことが必要です。農業委員と農地利用推進推進委員は、地域の話し合いの中で、農家の意見を丁寧に聞き取りながら、地域に即した計画となるように協力していくことが期待されています。

## (参考) 農業経営者として活躍する女性たち

### 令和5年度 農林水産祭 内閣総理大臣賞(女性の活躍部門)



あらや りえこ  
新谷梨恵子さん(新潟県小千谷市)



【農家レストラン「さつまいも農カフェきらら」】

新谷さんは結婚を機に新潟県小千谷市に移住し、さつまいもを通じた地域活性化を目指し、10年間就農後、生産・加工・販売までをプロデュースする「農プロデュースリッツ」を平成27年に設立しました。地元産さつまいもを提供する農家レストラン「さつまいも農カフェきらら」の経営や地域の規格外野菜の加工、新商品の開発などの事業を拡大するとともに、農家へのインターン生の派遣・受入や農家の6次産業化の支援をしています。

「さつまいも農カフェきらら」では子連れ出勤を可能とするので、主婦を中心に雇用するとともにトイレやシャワーの設置等、女性をはじめとした従業員が働きやすい環境整備に努めています。また、野菜の加工工場の2階に宿泊施設を整備し、インターンシップ生を積極的に受け入れています。

地域農家をプロデュースするという、農家の可能性を多方面から切り開く取組は、女性活躍の新たなモデルであり、今後の展開が期待されます。



【加工工場】



【イモぼんソフト】



【インターン生用の宿泊施設】

新谷さんの経営する「農カフェきらら」の看板商品。日本で希少なガンジー牛の牛乳を使用したアイスクリームをさつまいものカップの上に乗せた商品は、全国でも大人気。令和4年10月には「いもの上にアイスを乗せて個包装で販売する」というアイデアで特許を取得。



# 【みんなでつくる、男女共同参画社会】⑦



モニターでYouTube動画を再生

## 女性活躍推進等コンテンツ（動画・補助資料）のご案内 『女性が活躍中！地域農業の未来をつくる農業委員の1日』

この度、㈱マイファームが、令和5年度女性が変える未来の農業推進事業を活用し、女性農業委員のとおる1日を密着取材し、地域での活動の様子や想い、パートナーや周りの農業委員の声などを紹介する動画を作成しました。

皆さまが農業委員など地域リーダーへの登用といった女性活躍の推進に取り組まれる中で、「女性農業者に農業委員の仕事を知ってもらいたい」、「地域の関係者に女性農業者の活躍への理解を促したい」など場面で活用いただけるコンテンツとなっておりますので、是非ご覧いただき、ご活用ください！

コンテンツの視聴・補助資料のダウンロードは以下リンク先のWEBサイト（㈱マイファームWEBページ内）より可能です！



[https://myfarm.co.jp/women/next\\_leader/](https://myfarm.co.jp/women/next_leader/)

### 動画の内容のご紹介

今回ご協力いただいた女性農業委員

- 梅苗 史絵さん(富山県魚津市農業委員会(2期目))
- 笠原 尚美さん(新潟県阿賀野市農業委員会(8期目))



農業委員のとおる1日を密着取材



パートナーとの役割分担や  
農業委員就任後の変化



地域での活動  
(地域計画の説明会の様子)



委員会会長へのインタビュー  
(女性委員の活躍場面、期待など)

【問い合わせ先】

・農林水産省 経営局 就農・女性課 女性活躍推進室（電話（直通）：03-3591-5831）



# 【みんなでつくる、男女共同参画社会】⑧

## 「農業女子プロジェクト」について ～概要～



### 趣旨

「農業女子プロジェクト」（2013年設立）は、農業内外の多様な企業・教育機関等と連携して、農業女子の知恵を生かした新たな商品・サービスの開発、未来の農業女子をはぐむ活動、情報発信等を行い、社会全体での女性農業者の存在感を高め、女性農業者自らの意識の改革、経営力発展を促し、職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ります。農業女子同士のネットワークづくりにも取り組んでいます。

### 参加メンバーデータ

農業女子メンバー 全国 **1,011名**  
 参画企業 **32社**  
 教育機関 **8校**  
 (2024年3月31日現在)

### 具体的な取組

#### 企業プロジェクト

企業と農業女子メンバーが協同で新たな商品やサービスの開発等を行い、女性農業者の活躍や魅力を発信（それぞれの企業活動の一環として推進）

#### チーム“はぐくみ”

高校・大学等の教育機関と活躍する魅力ある農業女子メンバーが連携し、農業を志す学生の発掘や動機づけ、意識の向上のための取組を実施

#### SDGs活動の発信

“農業者のわたしたちができる5つのこと”として農業女子メンバーのSDGs活動を発信

#### NEXTラボ

メンバーの関心の高いテーマについて勉強会等を実施

SNSやイベント等を活用した  
女性農業者の魅力発信



### プロジェクトの目的

社会、農業界での女性農業者の存在感を高める  
 女性農業者自らの意識の改革、経営力の発展  
 若い女性の職業の選択肢に「農業」を加える



### 第11期 農業女子プロジェクトの活動方針

(2023年11月～2024年10月)

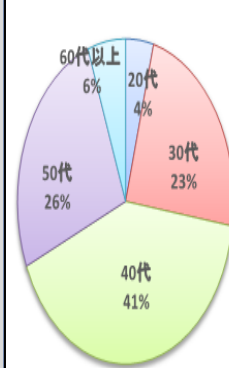
1. 「NEXTラボ」の本格実施
2. 地域活動の活性化
3. 「農」の魅力を発信

## (参考) 農業女子プロジェクト メンバーに関するデータ

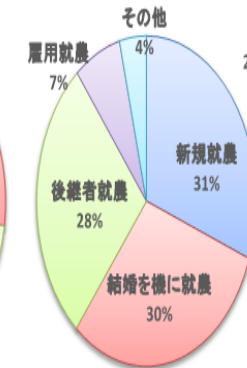


- 参加者数は**1,011名**（2024年3月31日現在）
- **20-40代のメンバーが7割を占める**

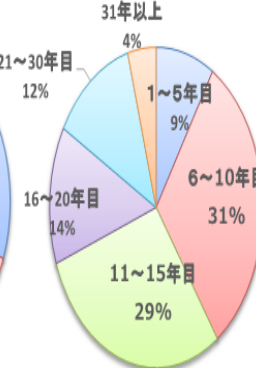
### メンバー年齢構成



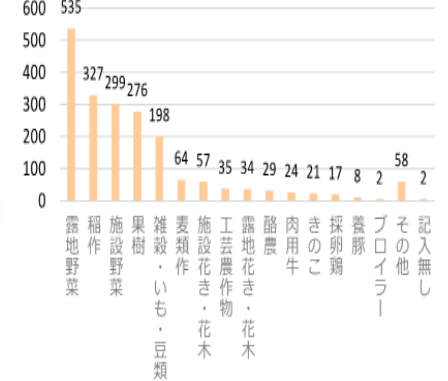
### 就農ルート



### 就農歴

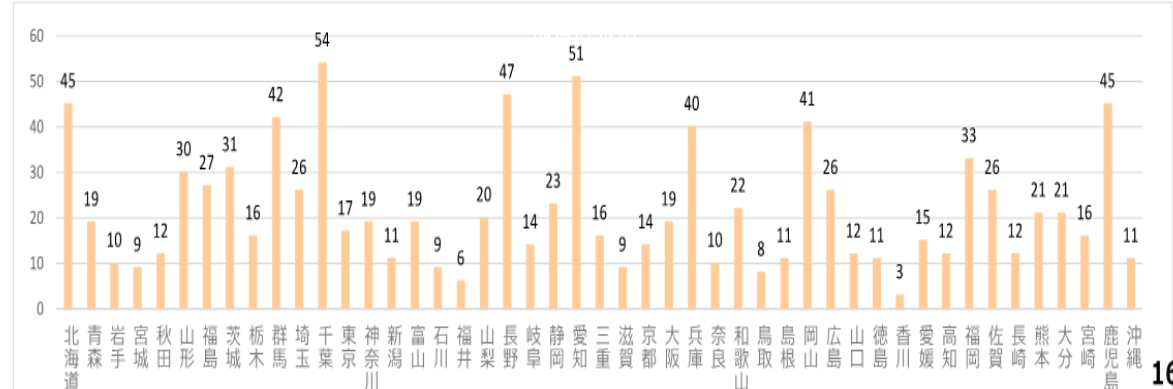


### 農業生産品目



※農業生産品目については複数回答

### 都道府県別メンバー数





# 【みんなでつくる、男女共同参画社会】⑨

“持続可能な社会の実現のために  
農業者のわたしたちにできる5つのこと”



農業女子が取り組んでいる「SDGs」につながる活動の中から5つのメインテーマを抽出し、農業女子に積極的に取り組んでほしいゴールとして設定。

## 〔農業女子たちの取組事例〕

### その1 健康的な食生活の実現に取り組む



### その2 農作業体験から“食”と“農業”の大切さを教える



### その3 働きやすい環境をつくり、地域の主要産業になることを目指す



### その4 農村の魅力を発信し、地域の農業を維持する



### その5 自然によりそった持続可能な農業の実現に取り組む



#### 保育所で「お迎えマルシェ」開催



#### 学校給食への食材提供



#### 小学校での出前授業、収穫体験



#### 農を伝える絵本の制作・読み聞かせ「AGRI BATON PROJECT」



#### 女性が働きやすい職場づくり



#### スマート農業を活用したストレスフリーな農業経営



#### 町の人たちに地域の農の魅力を紹介



#### メディアを通じて農への想いを発信



#### 貝殻等の海洋廃棄物を使った循環型農業



#### ブドウの搾りかすで肉用牛を肥育



## これまでの企業プロジェクトの主な成果



### 井関農機

女性も使いやすい農業機械を開発

#### ◆農業女子草刈機『ブチもあ』 [2017.12]

- ・動画で使用方法等を確認できるQRコードを添付
- ・サイドクラッチレバーやグリップを操作しやすく改良



- ◆耕耘機『ちょこブチ』 [2016.12]
- ◆トラクタ『しるブチ』 [2015.6]

### カネコ総業

女性も使いやすい農具を開発

#### ◆【Lacuno】シリーズ [2021.1]

- ・手になじみ、作業しやすく疲れにくいくらくらくグリップシリーズ「Lacuno」(シヨベル・キッズ鎌・鋏)の開発



- ◆【Lacuno】シリーズ  
(鎌・鋏・レーキ)  
[2018.11]

### モンベル

農業も快適な作業着を開発

#### ◆フィールド クールバーカ Women's [2021.1]

- ・農業女子の意見を取り入れて、素材やシルエットにこだわり、暑い季節の農作業を快適にする速乾性・通気性に優れたバーカを開発



#### ◆フィールドもんべ [2019.3]

#### ◆フィールドレイン ジャケットWomen's・ フィールドレイン パンツWomen's [2018.9]

#### ◆クリマプロ フィールドストレッチ カパーオールwomen's [2016.9]

### 楽天

ネット販売で農業女子をPR

#### ◆「ラクマ」にて農業女子の野菜・ 加工品販売 [2017.11~]

- ・農業女子の魅力が詰まった特設サイトも開設
- ・ECで顔の見える販売を実現



### 三越伊勢丹

消費者と農業女子をつなぐ接点の創出

#### ◆三越銀座店でのコラボ商品販売 & PJメンバー出店 [2023.11]

- ・PJメンバーの食材を使ったコラボ商品の販売
- ・PJメンバーが出店し、生産品を通じて「農」の魅力を発信



### 全国農協観光協会

都市住民と農業女子をつなぐイベントを開催

#### ◆農業の魅力を伝える【農業女子つ ・な・ぐPJ】 [2020.11~]

- ・「職業体験EXPO」などのイベントでPJメンバーによる農業の魅力発信
- ・親子で参加できる農業体験の開催

